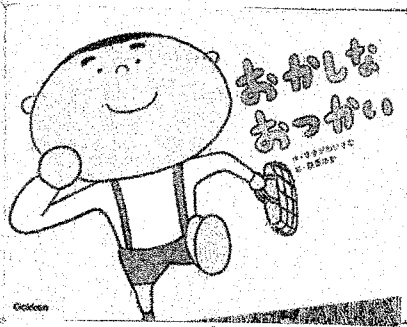


# 京丹波町 絵本ちゃんのオススメ本ページ



えほんちゃん  
モトモト  
カモ



## おかしなおっかい

作 さいかわいすけ (学研プラス)  
絵 萩原ゆか

男の子がおっかいに行ったのは怪しいおばちゃんのお店。  
はじめは「コワクパンありますか？」とおばちゃんは  
言調子良く「はいはい、パンでよね」と...ページをめくると...  
おっかい、そうきたかあ!! とビックリとおもしろーい。さ  
次に「チョコレート、コロケetc...」男の子とおばちゃんとのやりとりが  
とてもテンポ良く、愉快で、子どもの言いまわしが聞きたがる  
のようなカワイ言葉遊び的な展開が、おもしろくて  
心地良くて、ついつい男の子といっしょに、おばちゃん  
の対応に惹かれてはしゃぎまわりたい楽しい絵本です♡

## 答えのない道徳の問題

### どう解く?

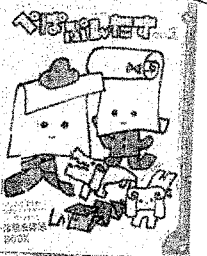
(ポプラ社)

答えがあるのではない  
いろんな問いや難問に

向かい合ったときもあれば、そのまわりのやり過ごし  
ている毎日の中で、さまざまな立場や角度から  
考えたり、話し合ってみたり...と考え方や考え方の  
きっかけとなる本です。著名な方々の回答も興味深い。

## 絵本でも読者の手でもないけれど

身近な素材である紙で、いろいろな  
遊んでみよう!! と豪華アーティストが  
企画した紙の可能性を引き  
出した紙に特化したワクワク  
感、いっぱいムック本です。  
私たちの子どもの頃って、  
こういう遊びをしたなあ。  
とがっかりの中にも  
新鮮な自由にも楽しめる  
貼ったり、くちやくちがいたり...アート  
やなあ。



## いっしょに遊ぼう!! (小学館)

ウケ狙いだけでなく  
赤ちゃんからお年寄りまで  
みんなが、いっしょに楽しめる  
『なまじり絵本』です。  
読み聞かせ前の導入や  
集いや宴会でも盛り上がる。



## はかりきれない世界の単位

米澤敬 著  
目下明 イラスト  
(創元社)

耳にしたことのある単位から、初めてみる単位  
はかりきれない。というにはかりたがるの  
と、いちいち感じやすいはかり。  
「なるほどなるほど」。へえ〜知らなかったなあ。  
ちなみに「盲亀浮木」という名の力だが、  
もうきふほど。  
絵本ちゃんのとまりの寺の文庫のとまりに  
あります。こゝと  
旧須美小学校の宣伝もしときます。

## けっこんしき

鈴木のりたけ 作  
(ブロンズ新社)

② みなさん 頭にかぶろうとすれば、おてこにはめてくださいね!



## 加古里子さん追悼&amp;本の紹介

ふうせん文庫 海老ヶ瀬正三

『だるまちゃんとかまどんちゃん』

加古里子 さく/え

『だるまちゃんとはやたちちゃん』

福音館書店 2018

『だるまちゃんとキジムナちゃん』

昨秋のテレビインタビューで近々出版の「だるまちゃんシリーズ」3冊についてお元気に語っておられた加古里子さん。今年1月に上記の3冊が同時発売されました。4月の子ども読書週間行事への出演時、醍醐中央図書館で『だるまちゃんどてんぐちゃん』の大型絵本を読み、新刊も紹介しました。図書館の方に「だるまちゃん」シリーズのほとんどを部屋に並べていただき、帰りに子ども達が手に取り選んで借りて帰っていく姿を見てうれしく思いました。加古さんの絵本に接したのは『カラスのパンやさん』が最初だと思いますが、他に『宇宙』『地球』などの科学絵本も書かれていて、加古さん自身に興味を持ったのをおぼえています。『未来のだるまちゃんへ』の本(文庫にもなっています)を読み、ますます好きになりました。ご冥福をお祈りいたします。



『カエルくんのたいはっけん!』 松岡達英・作 小学館 2016

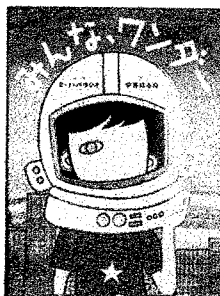


『だんごむし そらをとぶ』『イモリくん ヤモリくん』などの作者ですが、今度は自宅のアトリエの奥にある池が舞台だそうです。主人公は池で生まれたアマガエル。水の外に出るのは初めてで、池に住むいろいろな生き物に出会い、その行く先々で大発見していきます。トンボやクモやアメンボ、カワセミが素早く魚を捕まえる様子を見て感激したり…。池から飛び出し、森へも冒険に行き、ネズミと仲良しになったり、と楽しい冒険が続き、最後には池に戻り「やっぱりここがいちばんいいな」とつぶやきます。主人公の微笑ましい冒険を通して、たくさんの生き物が育む日本の自然の豊かさが感じられます。

『マララのまほうのえんぴつ』 作・マララ・ユスフザイ

絵・キャラスケット 訳・木坂 涼 ポプラ社 2018

既に何冊か作者のノンフィクションの本が出版されていますが、これは見やすい絵本版です。「あなたはまほうを信じますか?」という一言で始まります。途中、真っ黒なページがあり作者の心の内を示しているようです。しかしその後は一転して「わたしはまほうを信じます」と宣言し理不尽さに立ち向かっていきます。子ども達に接してほしい1冊です。



『みんな、ワンダー』 R.J.パラシオ 作・絵 訳・中井はるの 星雲社 2018

想像力を働かせながら読んだ『ワンダー』。続編が2017年に出版されていますが、こちらも見やすい絵本版です。「ぼくはほかの子と見た目がちがう」でも、ママはこう言っている「あなたの代わりは いない。あなたは ワンダー、奇跡の子よ」って。自分のありのままの姿を見てほしい、ひとりひとりが違って、みんながそれぞれちがうから、みんなすばらしい。だれもがそれに気づくことがいいのですが…。

小学校の読み聞かせで

子うま文庫 原 素子

小学校(全学年)の朝の読書の時間に読み聞かせに行っています。「子どもたちの心の中に残る本を」と思い選書してしています。その中の4冊を紹介します。

『空のおくりもの』マイケル・キャッチプール/文 アリソン・ジェイ/絵  
亀井よし子/訳 ブロンズ新社 2012

あるところに、朝の雲から金色の糸を、昼の雲からまっ白な糸を、夕焼け雲からあかね色の糸をつむいで布を織る少年がいました。いつも少しもらって必要な分だけを。ところが、ある日、王さまがたくさん布を織ることを命じます。やがて、空から雲がどんどんへり…。多くを求めず、自然と共生することを優しい絵とともに伝える絵本です。



『あいうえおの き』ちからをあわせたもじたちのはなし

レオ・レオニ/作 谷川俊太郎/訳 好学社 1975

あいうえおの木には、文字たちがのんびりとくらしていました。でも強い風が文字たちを葉っぱからふきとばします。そこで文字たちは力を合わせて、言葉を作り、次に文章を作ります。そして、一番伝えたい大切なこと「平和への誓い」を文章にして運びます。いつの時代にも読み続けたい絵本です。



『うごいちゃだめ!』エリカ・シルヴァマン/文 S. D. シンドラー/絵  
せな あいこ/訳 アスラン書房 1996

「うごいたら負け競争」をするあひるとがちょう。うごいちゃだめ!の瞬間から子どもたちも固まって聞いてくれます。後半は、ハラハラドキドキしながら絵本の世界に引き込まれていることが感じられ、読む方も楽しくなってくる絵本です。



『わらって!リッキ』ヒド・ファン・ヘネヒテン/作・絵

のざか えつこ/訳 フレーベル館 2000

リッキが他のうさぎと違うところは、かたっぽの耳がぺたんと寝ているところ。みんなと違うということが悩みだったリッキが最後は自分自身を受け入れ、「ひとりひとり違っていいんだよ」という大切なメッセージを届けます。



ちょっと気になる絵本あれコレ

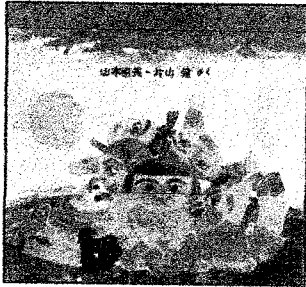
京都 YWCA 親子ライブラリー  
橋まゆみ



「オオカミがキケンってほんとうですか？」

せき ゆうこ作 PHP 研究所 2016 年出版

思いもよらないどんでん返し～なんてネタバレを知った後でも「もう一回！」とじっくり読み返したくなりました。差別、偏見、人権・・・といった難しい言葉がピンとこない小さい子にもきちんとメッセージは伝わるんですね。



「からだっていいな」

山本直英、片山健作 童心社 1997 年出版

「こころ」と同じくらい大切な「からだ」。身体があるからこそ人間は生きているし、心の働きも確保される！身体は心よりも正直。身体あってこそその楽しい“現象”を子どもにも分かり易く、日常生活の中から提示している。性教育も視野に入れた「からだ」のあれやこれやに自然と意識がいくようにつくられている。(日本絵本賞受賞)



「パッチン・ぐるーん」 まさお！げんきか

いわさき さよみ作 けやき書房 1996 年出版

京都の養護学校で14年間、知的障害のある子ども達と関わった作者が描いたダウン症のまさおが主人公の絵本。家族が支え合いながら懸命に生きていくたくましい姿が心打つ秀作！



「こわめっこしましょ」

tupera tupera 作 絵本館 2018 年出版

「絶対妥協しない」「子どもに気をつかわない」・・・そんな作者の心の声聞こえてきそうなインパクト大の一冊。興味ひかれるタイトルに導かれてページをめくれば、思わず「えっ?! コレいいの~?!!」とつぶやきが出てしまいました。



かがみのえほん 「きょうのおやつは」

わたなべ ちなつ作 福音館書店 2014 年出版

ポップ絵本とはまた異なった、立体絵本ならではの おタノシミ。アナログだからの実感を存分に味わって下さい。

<お月さまといっしょに>



『おつきさまこんばんは』 林明子さく 福音館書店 1986

「よるになったよ」猫さんが2匹、屋根にのぼります。「あっ くもさんこないで おつきさまがかくれちゃう」だいじょうぶ くもさんはさよならしたよ おつきさまこんばんは。



『パパ、お月さまとって』 エリック・カールさく もりひさしやく 偕成社 1986

モニカが窓から手を伸ばしてもお月さまには届きません。「パパ お月さま取って」パパは ながーい長いはしごを持って、たかーい高い山へ運んでいきます。さあ、どうなるかな。文庫で大人気の仕掛け絵本で、もうぼろぼろになってしまいました。

『魔女たちのパーティ』

ファラディはおばけの扮装途中、月の中に現れた魔女にす。そこでは大鬼子鬼のパーティよう!

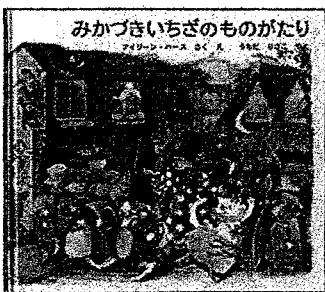


ロンゾ・アンダーソン作  
エイドリアン・アダムズ絵  
奥田継夫訳 佑学社 1981

でハロウィンパーティに出かけるひかれて森の奥深くに入り込みま  
ティ真っ最中!一緒に楽しみまし

『月夜の誕生日』 岩瀬成子作 味戸ケイコ絵 金の星社 2004

今夜は万里の誕生日。誰かに呼ばれて目を覚ますと、月の光の中にカワウソが。次々に現れるカメやネズミやサワガニ達。ツルクサをのぼって、月食の夜のバースデーパーティ!皆の歌声が風に乗って広がっていきます。



『みかづきいちざのものがたり』 アイリーン・ハースさく・え内田りさこ やく 福音館 1981

ジョジョと犬のジップ、猫のニコレットは旅芸人の一座。村から村へとまわります。ある夜飛び込んできた羽根のある小さなおばあさん魔女。誰かの願いをかなえてあげると休めるというのです。さて誰の願いがかなうのでしょうか。 もみじ文庫 千代田眞美子

冬の渡り鳥の季節ですね。日本には、秋には北国から越冬のために、春には南の国からひなを育てるために、いろんな鳥たちがやってきます。なんて恵まれたところでしょう！！  
今月は渡り鳥の絵本を紹介します。 わたぼうし文庫 後藤由美子

『ガンのわたりをまもる』

佐藤ヒロシ 作・絵

校正出版社 いきものをまもるシリーズ8 2005



ロシア東海岸からカムチャッカ半島で繁殖するオオヒシクイというガンにナンバーの首輪をつけ、そのナンバーのガンの里親になる活動があります。ヒカルは、おばあちゃんからナンバーをプレゼントされ、宮城県の飛来地へ会いに行きます。

『おおはくちょうのそら』



手島圭三郎 絵と文

絵本塾出版 2015 (福武書店 1983)

こちらは北海道の湖で越冬を終る春の空に向かって次々飛ぶ子どもは病気で弱っていますが…。ページいっぱいに広げた翼がとても美しい絵本です。

え、北へ帰るおおはくちょうのお話。び立つ仲間たち、でもこの家族の一羽です。一旦は子どもをおいて飛び立ち

『ツバメの旅 -5000 キロのかなたから-』

鈴木まもる 借成社 2009

冬鳥が帰っていくと、今度は春の渡り鳥、ツバメがやってきます。毎年、どうして自分の生まれた軒先を覚えているのでしょうか？この頃は田んぼが減って、巣の材料も減り、汚れのつきにくい壁面のために作った巣が落ちてしまうこともあるらしい。5000キロも越えてやってくるのね。



『わたり鳥』 鈴木まもる 作・絵 童心社 2017

鳥の巣に興味を持って集めだし、図鑑を作ると、そのうち世界中からとりの情報が集まってきました。鈴木さんは今や絵本作家であって、鳥の専門家に。渡りをする鳥たちがいっぱい紹介されています。そんなに鳥たちは旅をしているのか！！と今更ながら驚く絵本です。



さむーい冬をあたたかく

風の子文庫 蚊野 美加



## 『てぶくろがいっぱい』

フローレンス・スロボドキン 文 ルイス・スロボドキン 絵  
偕成社 2008

寒いミシガンに住む双子のネッドとトニー。ある日、トニーが赤い手袋を片方失くしてしまいます。その噂はいつしか町中に広がっていて、手袋が見つかった後も、ご近所さんが次々と赤い手袋の落し物を届けてくれます。双子のおうちは手袋でいっぱい！さて、この手袋を二人はどうするのでしょうか？



## 『フレデリック』ちょっとかわったのねずみのはなし

レオ＝レオニ 訳 谷川俊太郎 好学社 1969

小さな野ねずみたちは、冬に備えて、昼も夜も食べ物を集めに働いています。けれど、フレデリックだけは別。座り込んでじっとしています。「フレデリック、どうしてきみははたらかないの？」と仲間が聞いても、「こうみえたって、はたらいているよ。」と答えるばかり。

冬が来て、やがて野ねずみの隠れ家に木の実や草の実もなくなった頃...フレデリックの出番がやってきます。

『クリスマスにはおひげがいっぱい!?』ほんとのサンタさんの話  
作 R・デュボアザン 訳 今江祥智&遠藤育枝 BL出版 2008

本物のサンタさんは“がんがんに！”怒っています。クリスマスともなると、どこに行っても、同じ赤い服、偽物のかつらとひげのサンタだらけになることを。そこで、街角でもお店でも地下鉄でも、ニセのサンタを見つけると、とびかかってそのひげをむしり取りました。(なかなか過激!)そして、おおいばりで、そりに山もりになった“ニセひげ”を、奥さんが待つ家に持ち帰ったサンタさんでしたが...



『はじめてのオーケストラ』  
原作 佐渡裕 絵 はたこうしろう 小学館 2016

冬休みに入った日曜日、1年生のみーちゃんはシフォンのドレスを着て、お父さんが指揮をするベートーヴェンの「第九」の演奏会を、初めて聴きにきました。ステージにパパが現れ、曲が始まると、様々な音がみーちゃんの体を包み込みます。原作は世界的指揮者の佐渡裕さん。みーちゃんの特別で心躍る体験を通して、オーケストラの魅力と音楽の歓びをやさしく伝えます。

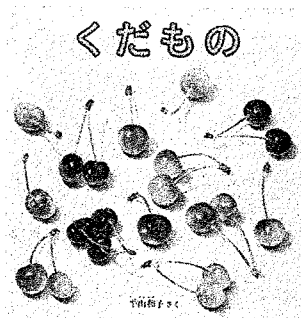


「お話会」におすすめの美味しそうな絵本 イトーピア文庫 金内恵美



小西英子  
福音館書店  
2008  
パンにバターを  
塗って、レタスを  
して～それか  
ら？

「サンドイッチサンドイッチ」  
できたよ～！いただきます～す！！



平山和子  
福音館書店  
1981  
まるごとの果物と  
皮をむいて皿に  
盛りつけた果物

「くだもの」  
さあ、どうぞ。嬉しい！いただきます！



柴田ケイコ  
PHP 研究所  
2017  
食いしん坊の  
シロクマは考え  
ます。ご飯の中  
に入ったら？

「おいしそうなしろくま」  
次々に美味しいものの中にはいっちゃう！



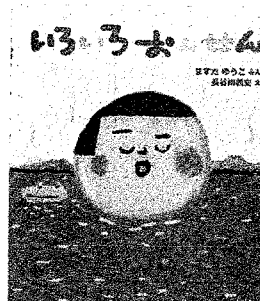
作 井上荒野  
絵 田中清代  
アリス館  
2009  
カレーの種を植え  
たらば、歌って踊っ  
て大きく育て♪

「ひみつのカレーライス」



かがくいひろし  
教育画劇  
2009  
こいたろうとかめぞう  
ケーキを目の前にして  
がまんがまん！  
あっ、伸びてますよ～

「がまんのケーキ」



作 ますだゆうこ  
絵 長谷川義史  
そうえん社  
2008  
楽譜付き絵本  
素敵な色の温泉に  
入ったあとは  
あれを飲む！  
腰に手をあてる？

「いろいろおんせん」



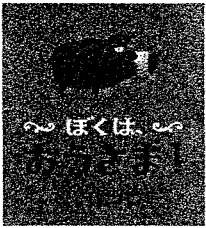
# おはなしのなかのおうさま

本とお話の会 パンフルート 入江雅子



★ちいさなおうさま (日本) (三浦太郎/作 偕成社)

ちいさなおうさまの毎日のくらしを絵本の世界で楽しもう。



★ぼくは、おうさま! (ベルギー)

(レオ・ティマース/作・絵 ひしきあきらこ/訳 フレーベル館)

この王冠はだれのもの?おうさまになりたいどうぶつたち。

ふしぎなボジャビのき



★ふしぎなボジャビのき (アフリカのむかしばなし)

(ダイアン・ホフマイアー/再話 ピートフロブラー/絵 さくまゆみこ/訳 光村教育図書)

アフリカのサバンナで、どうぶつたちはライオンの王さまにふしぎな木の名前を聞きに行くことに。。さて?



★王さまと九人のきょうだい (中国の民話)

(君島久子訳 赤羽末吉絵 岩崎書店)

よくばり王さまに立ち向かう九人のとてつもない兄弟たちのとてつもなく面白いおはなし。



★ラン パン パン (インドみんわ)

マギー・タフ再話 評論社

わがままな王さまにおくさんをつれさられたクロドリと、仲間たちが たいこをたたいて行進します。ランパンパン、ランパンパン、ランパンパンパン!

# 木はいいなあ

おはなしポケット (開冊市)

ほろです。

もうすぐ 木々も芽ぶきます。そんな木のおはなしをあつめてみました。  
すくすくのびる木を味わってみませんか？

## 「木はいいなあ」

エドリン/さく シーモント/え さいおんじさちこ/やく

偕成社 (アメリカ) 1976

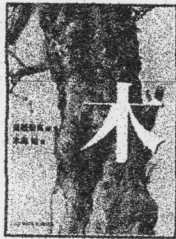


絵も文ものびのびとして「いいなあ」にあづかっています。

## 「木」

佐藤忠良/画 木島始/文

こどものとも 539号  
福音館書店 (日本)  
2005



彫刻家らしい すばらしいデザイン。  
「見るか」がみながっています。

## 「木をかこう」

ブルーノ・ムタリ/作 須賀敦子/訳 至光社 (イタリア)  
1982



デザイナー・ムタリの新しい物の見方が表れた本。  
きっと 木をかきたくなります。

## 「太陽の木の枝」

フィッツォフスキ/再話 内田莉紗子/訳 ジブシーのむかしぼろ  
堀内誠一/画 福音館書店 2002



表題のおはなしのほかにも、たくさんのジブシーの  
おはなし。うつくしい堀内誠一の絵とともに  
おたのしみください。